

【第1号議案】

【2019年度 事業報告】

▶総会

2019年通常総会

【日 時】2019年5月18日(土)

AM10:00 から 11:00 まで

【場 所】大阪市中央区民センター第2会議室

【出席者数】全正会員数 29名 うち 出席者数 22名(うち委任状出席 16名)

【議案】

第1号議案 平成30年度事業報告及び収支決算報告の件

第2号議案 令和元年度事業計画案及び収支予算案承認の件

第3号議案 役員任期満了にともなう役員選任の件

▶理事会

開催状況

今期は理事会上程の案件が無かった事と、理事各位のスケジュール調整が困難な事もあり、個別に理事の意見を聞くという事で、理事の意見を吸い上げた。

2019年度第1回理事会

【日 時】2019年5月18日(土)

【場 所】大阪市中央区民会館

【出席者数】理事 4名

2019年 第2回理事会

【日 時】2019年11月3日(日)

【場 所】大阪市総合生涯学習センター

【出席者数】理事 4名

▶事務局会議

スタッフミーティング開催状況

毎月、第2日曜日に定例開催する事を基本としたが、メンバーの仕事関係を優先して日程を決め開催した。

2019年6月2日(日) 於 総合生涯学習センター

7月14日(日) 於 総合生涯学習センター

8月11日(日) 於 総合生涯学習センター

10月13日(日) 於 総合生涯学習センター

11月3日(日) 於 総合生涯学習センター

12月15日(日) 於 総合生涯学習センター

2019年1月12日(日) 於 総合生涯学習センター

1月26日(日) 於 総合生涯学習センター(2/16 バーチャルツアー準備)

▶ 広報

■事業の概要

現地の様子を伝えること、ニランジャナセワサンガの認知度を高めること、イメージアップを図ることを目的として活動した。

■2019年度の実績と成果

<実績と成果>

(1)対象者:潜在支援者

①ウェブサイト

団体の活動内容などがより伝わりやすいものになるよう、ホームページにプラスしてフェイスブック活用での情報発信に努めた。

Facebook ページ いいね! 累計 2500 件

<課題>

- ・ウェブサイトの適時更新
- ・ブログとソーシャルメディアの活用方法

▶ 支援者サービス

■事業の概要

今年度、支援者及び協力者へ、ニュースレターと合わせ子ども達の手作りカードを送った。現地の状況を知ってもらうことは勿論、子ども達との交流を楽しんでもらった。

■2019年度の実績と成果

<実績と成果>

(1)サポーターへのニュースレター「Niranjana Letter」発行

2019年12月に支援者へ現地の子ども達の様子や各プロジェクトの進捗状況、イベントのお知らせなどを兼ねたニュースレターを会員及び協力者に向けて発送した。

(2)現地からのクリスマスカード発送

2019年児童が支援者に対しクリスマスカードを約220枚作成し、支援者のもとに郵送した。

▶ スタディツアー事業

インド・ビハール州ニランジャナスクールでの授業ボランティアや、近隣の村への訪問などを通し現地の住民たちと触れ合うことで、参加者の見聞を広めるとともに、現地での様々な体験を通じて、児童やスタッフと国境を越えた関係性を築くことを目的としたプログラムである。

■2019年度の実績と成果

<実績と成果>

計画段階で難しいとの見解で実施できなかった。

▶ イベント事業

■ 事業の概要

イベントへの参加及びブース出店を通し、広く団体の活動を知って貰う。

■ 2019 年度の実績と成果

<実績と成果>

2019 年 5 月 5 日(日) 地球愛祭りイン京都 出展

2019 年 11 月 23 日(土) 生涯学習フェスタ 出展

▶ 研修・セミナーの開催と参加

① 大阪市総合生涯学習センターネットワークサロン

日時 2020 年 2 月 16 日(土) 14:00~16:00

場所 大阪市総合生涯学習センター 第8研修室

内容 「インドバーチャルツアー」

FB のメッセージの機能を使ってインドスジャータ村をディベンドラ氏に案内して頂く。

又その機会に当団体の活動やインドビハール州の状況や教育事情の講演を行った。

参加者 15 名

▶ サービスグラントの助成事業

■ 事業の概要

今年度、サービスグラントの助成事業の申請が受託され実施。パナソニックの現役社員の方7名の助成を受け会員へのアンケート調査を実施する。会員の生の声を聴く事で今後の方向性を探り指針とした。

■ 2019 年度の実績と成果

パナソニックの現役社員の方との交流も当法人にとって魅力のあるものであった。又本来の会員の声を聴くという事ではスタッフの考えている事、インドの状況の会員への発信の重要性を感じた。

WEB 発信の頻度を上げる事等をスタッフ一同共有した。

インド①▶ 学校教育

■ 事業の概要

「他者への思いやりの心を育てること」を教育の理念とし、現地パートナー団体トラストと連携を取り合いながら、貧困地域において学校教育を提供している。学力向上及び自立支援授業、教科書配布、制服支給、給食配給(週 2 日)をすべて無料で実施。

2003 年よりブッダガヤ周辺の 17 の村々の最貧困層の子どもたちを対象に、学校教育を支援しており、これまでに 17 年間、年間約 500 名の子どもたちに、無償支援。授業料が払えない、制服や教科書を買うことができない子どもたちのために支援を行う。

地域の教育レベルの底上げに力を入れていくと同時に、経済的貧困が理由で進学・就職ができないという子どもたちを支援するために、義務教育の期間を終えるまで、学校教育を提供している。

教育面で特に力を入れているのが、英語、一般教養、そして国際交流である。世界情勢を幅広くとらえ、国境を越えた視野を持つことができるよう、世界各国からのボランティアを受け入れ、授業やワークショップに積極的に参加することで実践的なコミュニケーション能力を培う。学校には、ヒन्दウー教、イスラム教、仏教、シーク教などさまざまな宗教背景を持つ子どもたちが一同に学んでおり、すべてのカーストの子どもたちが分け隔てなく一緒に机を並べる。

■2019年度の成果:

・運営自立を目標にし、学費を支払える家庭からは低額の学費を納めてもらう。会合を開き保護者たちへ学校運営への協力を呼び掛けた。

・7年生を対象に卒業遠足を実施。思い出作りを行った。

・朝の挨拶運動の実施。

教科:英語、数学、ヒンディー語、サンスクリット語、科学、一般環境学、社会、

クラス:ナーサリー・プレナーサリー・LKG・クラス 1-7

シニアクラス(クラス 8-10 中学校 2~3 年生・高校 1 年生)(本校のみ)

コンピュータークラス (本校生徒並びに地域の 15 歳以上の若者が対象)

現在、本校の生徒数は 320 名。ビームスクールが 180 名

インド②▶孤児院(ドミトリー)

■2019年度の状況:

・日本からの送金だけではやっていけない為、新規の孤児受け入れは行っていない。

インド③▶スジャータ・アシュラム(女性センター)

■事業の概要

女性の地位の向上に向け、家庭の中でも自信や誇りを持ち、強く生きていけるようにと始まったプロジェクト。

2011年にスジャータ・アシュラムが完成。

裁縫教室、メヘンディ教室、ペイント教室、識字教室を実施。

■2019年度の状況:

チームピースチャレンジャーの支援と生産委託で、仕事としての縫製・収入と技術習得の機会を提供している。

インド⑤▶植林・有機農業

■事業の概要

乾燥・干ばつ被害が広がるビハール州南部に林や森を取り戻し、生物多様性を回復させるとともに地球温暖化を防止する。また、植林と有機農業の混合実績によりアグロフォレストリー(森をつくる農業)のモデルケース

となることを目的としたプロジェクト。開始から7年がたち、マンゴーが実るようになり、その他の木々も順調に育ってきている。植林地を動物侵入による被害から守るため、柵の建設を開始している。有機農業の畑にて、土作りと再耕作を計画した。

■2019年度の実績と成果

- ・マンゴーとグアバ等の果樹収穫が安定して取れるようになった。
- ・植林・有機農業の混合実践を行うことにより、有機物の有効利用に工夫をこらした。ミミズを投入したコンポスト堆肥づくりも現地に定着してきた。
- ・泥棒や家畜の侵入を防ぐため、レンガ塀の追加建設を行った。
- ・有機野菜の収穫も安定してきた。学校給食や孤児院の食事提供にも利用した。

※2020年5月6日(水)夜間に Bodhgaya 周辺地域は激しい雷雨と暴風に加え大きな雹(ひょう)に見舞われました。この嵐の為にアグロフォレストリーの果樹は壊滅的な被害を受けました。

▶TOYO TIRE の助成事業

■事業の概要

今年度は東洋タイヤの助成金も日本フィロンソロピー協会に管理・運営が任され、本事業の最終年度となった。ゴンガリア村アグロフォレストリー事業で行った有機農業を地域に広げる為の環境セミナー、植林の為の苗木配布、環境保護の為の樹木保護ガードの設置などを行った。

■2019年度の実績と成果

現地での環境セミナー5会場での開催、苗木1500本の配布、樹木保護ガードの200基の設置を達成した。

▶ウォーターポンプ設置・特別ドネーションの募集

■事業の概要

ニーマ村の水事情が悪く、依然として水を遠方の井戸から運ばなければならない状況となっている。ウォーターポンプ(一口1万円)の特別寄付を募集した。

■2019年度の実績と成果

50万円の寄付が集まった為4基のウォーターポンプの発注をし年度内に2基が完成。大理石に寄付者芳名を刻んだ事で寄付者からも喜びの声が寄せられた。
